

算数でも数学でも大切！

### いつも同じ時間配分の授業でよいのかな？

# 算数・数学の授業には、どのような学習の進め方があるの？

## もやっと

こんな悩みはありませんか？

### どの時間も同じ時間配分で指導

しようとするけど、いつも時間が足りない…。

いつも決まった時間配分で授業することが大切だと思いますが…。



素材提示 ↓ 課題化	10分
↓ 個人追究 ↓	10分
交 流 ↓ ま と め	15分
評価問題	10分

私も同じです。でも、終末に習熟の時間を多く取ったり、発展的に考えたりしようとする、どうしても時間が足りなくなるときがありますよね…。



そうですね…。交流を多く位置付けたり、子どもから考えを出そうとしたりすると、どんどん時間が延びていってます…。



だからといって、「教えてばかり」はよくないと思うのですが…。一人一人が主体的に学べるようにするには、指導方法や時間配分をどう工夫したらいいの…。



## すっきり

このような解決方法があります！

単元全体を見て、各時間の **ねらいに応じて展開や時間配分を工夫**していきましょう！

単元の流れ（例）

第1時	
第2時	<b>ポイント</b> 習熟の時間確保と問題の工夫 単元のはじめなどには、理解することや習熟することに重点を置くべき時間もあります！ →P.10「アイディア例①」
第3時	
第4時	<b>ポイント</b> あえて教師が考え方を提示 教科書に載っている考えが、子どもから出てこないときは、教師が提示し、その考え方について学ぶことも必要です！ →P.11「アイディア例②」へ
第5時	
第6時	
第7時	<b>ポイント</b> 導入を短縮、追究の時間を確保 単元最後の時間では、学習したことを最大限に活用して学べる素材・時間が必要です！ →P.12「アイディア例③」へ
第8時	
第9時	



## すっきり の指導がよい理由

### 令和5年度全国学力・学習状況調査で課題がみられた設問

学年	設問	内容	正答率	全国	県	自校	%
小学校	4(1)	百分率で表された割合について理解している。	正答率	全国 46.0%	県 44.3%	自校	%
			(■解説資料 P.55~P.57 ■報告書 P.81~P.83)				
中学校	6(3)	結論が成り立つための前提を、問題解決の過程や結果を振り返って考え、成り立つ事柄を見だし、説明することができる。	正答率	全国 40.9%	県 42.7%	自校	%
			(■解説資料 P.28~P.30 ■報告書 P.38~P.43)				

- ➡「**習熟が大切な時間**」に、教師が評価問題を段階的に提示したり、定着度に応じた問題を用意したりすることで、子どもは「きまり」や「手順」等、「基本的な学習内容を確実に定着」することができるからです。
- ➡「**考え方の交流が大切な時間**」に、教師が全体交流の時間を確保するなど展開を工夫することで、子どもは、説明・議論する機会が増え、「自分の言葉で表現する」ことができるようになるからです。

## 併せて大切な指導：「待つ」から「動く」への転換

◆つまずいている子が「止まる・待つ」姿から「**動き出す**」姿へ

◆課題解決できた子を「待たせる」指導から「**伸ばす**」指導へ

- ➡前に集めて、先生と一緒に考える。  
「あっ!分かった」と笑顔で自分の席へ
- ➡教科書やノートを自由に見られるようにする。  
「習った中で使えそうな考えはないかな」
- ➡早くできた子には、気付きを促す。  
「他の考え方でできる? いつでもいえる?」